※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８年度　芸術科(書道)

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編 書道Ⅰ（大修館）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楷書の基本から入り、単に美しく書くだけでなく、鑑賞を通して書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解し、書写能力の向上を図って基礎的技能を身に付けよう。
・毛筆の特性や技法を身に付け、意図に基づいて構想し、効果的に表現するために工夫しよう。
・書表現が身近な存在であることを理解し、文字の変遷、伝統、文化に関する学習活動も実践します。そして主体的に身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

・書写能力を向上させるとともに、書に関する見方・考え方を理解し、基礎的な表現ができる。
・書の伝統と文化に幅広く関わる能力を育成するとともに、書の良さや美しさを感受し、意図に応じた表現を工夫する。
・主体的に書の表現や鑑賞の活動に取り組み、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多機能性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想した表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ガイダンス 楷書の基本点画	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体・略式書体 「天」の字を使った書体の変遷 ・筆・墨・硯・紙について ・基本的な姿勢・執筆法について ・国語科書写で学んだ基本点画および二文字を調和よく書く	a:書写と書道の類似点・相違点、書体、用具・用材、姿勢・執筆法について興味を持ち、理解している(知識) a:用具・用材の用い方や基本的な姿勢・執筆法を身に付け、楷書における基本点画・字配りなど全体の調和も考え、効果的に表現するために必要な技術を身に付けている(技能) b:楷書の用筆・運筆、字形全体の構成など字のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	プリント 提出作品	振り返りシート ポートフォリオ作品
	書の学習方法について	・臨書と創作	a:書の学習方法として、古典に基づく学習意義や臨書と創作の関係を理解している。	プリント		
	漢字の書(楷書)	・「古典臨書」 唐の四大家の作品を、形臨中心に行い、書風の違いによる表現技術の習得と鑑賞する習慣を身に付ける。 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑	a:様々な楷書を鑑賞し、各古典の用具・用材の特徴と表現効果との関わり及び書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している(知識) a:各古典に基づく基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現をするための技能を身に付けている(技能) b:知識や技能を得たり、生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成及び意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 c:書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント 提出作品	プリント 提出作品	振り返りシート ポートフォリオ提出作品

※令和４年度以降入学生用

前期	硬筆（楷書）	・「楷書の学習」での文字構築を学び、丁寧に美しく書くこと。普段から丁寧に書く習慣を身に付ける。 （夏季休業中から前期終了までの課題としても扱う。）	a：楷書の基礎的な表現をするために必要な技能を身に付けている（技能） c：日常生活での硬筆の書の効用に関心をもって、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワーク提出作品		ワーク提出作品
	展覧会鑑賞学習	・自分の興味のある書や絵画の展覧会に行き、様々な表現方法や形式・表現効果を探り、鑑賞能力を高めながら、芸術を愛好する心情を育てる。	a：日常生活の書を始めとする芸術の創造的作品を通して理解を深めている（知識） b：作品の全体構成や意図に基づいた表現など、そのよさや美しさを感受し、自分の視点で分析して捉えている。 c：様々な作品のよさや美しさを味わい、鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	レポート	レポート	レポート
	漢字の書（楷書）	・「古典臨書」 唐の四大家の作品を形臨中心に行い、書風の違いによる表現技術の習得と鑑賞する習慣を身に付ける。 ・雁塔聖教序 ・自書告身帖	a：様々な楷書を鑑賞し、各古典の用具・用材の特徴と表現効果との関わり及び書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している（知識） a：各古典に基づく基本的な用筆・運筆、線質、字形や構成を生かした表現をするための技能を身に付けている（技能） b：知識や技能を得たり、生かしたりしながら、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成及び意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 c：書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント提出作品	プリント提出作品	振り返りシート ポートフォリオ提出作品
後期	漢字の書（行書）	・王羲之の蘭亭序を使用し、楷書と行書の違いを理解し、その技法を半紙・半切・色紙など異なる紙の大きさで学習する。 ・蘭亭序	a：蘭亭序の書美や表現技法を通して、楷書と行書の字形や用筆・運筆の特徴の違いについて理解している（知識） a：蘭亭序の基本的用筆・運筆、線質、字形や構成を生かし、作品を効果的に表現するために紙の大きさに応じた技能を身に付けている（技能） b：知識や技能を得たり、生かしたりしながら、蘭亭序の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構造及び意図に基づいた表現について構想して工夫している。 c：書の伝統と文化に豊かに関わり主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント提出作品	プリント提出作品	振り返りシート ポートフォリオ提出作品

※令和４年度以降入学生用

後期	硬筆（行書）	・「行書の学習」での文字構築を学び、丁寧に美しく書くこと。 ・普段から丁寧に書く習慣を身に付ける。 （冬季休業中から後期終了までの課題としても扱う。）	a:行書の基礎的な表現をするために必要な技能を身に付けている（技能） c:日常生活での硬筆の書の効用に関心をもって、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。	ワーク提出作品		ワーク提出作品
	仮名の書（基本）	淡墨による ・平仮名 ・連綿	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、平仮名の用筆・運筆との関わりなどについて、書の創造的活動を通して理解を深めている。（知識） a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や線質、字形を生かした表現など書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。（技能） b:仮名の書における線質、字形等の要素と表現効果や風趣との関わりについて、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 c: 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント提出作品	プリント提出作品	振り返りシート ポートフォリオ提出作品
	漢字仮名交じりの書	・選文 ・イメージ作り ・草稿作成 ・半紙による作品制作 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会 ・清書	a:言葉の良さを感じ取り、用具・用材の特徴と表現効果との関わり、漢字と仮名の調和などについて書の創造的活動を通して理解を深めている。（知識） a:基本的な用筆・運筆を生かし、漢字と仮名の線質・字形の調和、構成を思考した現代の書表現など、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。（技能） b:言葉の良さを感じ取り、全体の構成、表現など、書の良さや美しさを感受し意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫している。 c:互いの作品を鑑賞し、書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	プリント提出作品	プリント提出作品	振り返りシート ポートフォリオ提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度